

橋梁の補修について

急速に進む橋梁の老朽化に対して、計画的に長寿命化を図ります。

現状と課題

○県管理橋梁の高齢化が進んでいます。

県管理橋梁数 令和2年4月1日現在	うち高齢化橋梁（建設後50年を経過） 現在（令和元年）	10年後
3820橋	橋梁数 1731橋	2389橋
	高齢化率 4.4%	6.1%

取り組み内容

○計画的な修繕により寿命を延ばし、コスト縮減を図ります。

第3期長野県橋梁長寿命化修繕計画（令和2年4月～）

かけ替え予定橋梁 23橋	5年以内に修繕が必要な橋梁 964橋	5年より後に修繕する橋梁 2833橋
-----------------	-----------------------	-----------------------

かけ替え予定橋梁は現時点でかけ替えを計画している橋梁です

修繕に必要な費用 260億円

修繕の優先順位の考え方
・桁、床版、下部工などの主要部材損傷度
・橋梁の重要度

概ね5年以内 点検結果により（緊急）に修繕することが望ましい橋梁	対象橋梁 987橋	優先度 ↑高 ↓低
予防保全の観点から修繕することが望ましい橋梁	対象橋梁 1936橋	
機能に支障が生じていない橋梁	対象橋梁 897橋	

橋梁の損傷例



橋桁の腐食



橋台のひび割れ

住民参加による維持管理

ボランティア活動が広く県民に浸透してきている中、地域と連携し、住民や企業の参加による快適な道路の維持管理を進めています。

住民参加による維持管理活動状況（令和5年3月31日現在）

参加形態	活動状況
道路愛護団体	県内各地域
アダプト団体	366団体
信州ロード観察隊	658人

アダプトシステム（Adopt a Road System）

「道路の里親制度」とも呼ばれ、地域住民団体等が道路の一定区間の「里親」として、道路管理者と協定を取り交わし、ボランティアで歩道、植樹帯等の美化活動を行う制度です。地域住民等が主体的・意欲的に活動することで、道路環境の向上、ゴミ捨ての抑制などの効果や維持管理の効率化が期待されています。

道路管理者は、里親区間に看板を設置するとともに清掃用具の貸与などを行い、アダプト活動の支援をしています。

また、「里親」の活動に必要な物品の提供等を行う「アダプトサポーター」制度に登録していただいた企業・団体の皆様にも、こうした道路愛護活動への支援をしていただいております。



松本建設事務所管内 アダプト活動の様子

信州ロード観察隊

県民からの応募により各建設事務所が任命した隊員から、道路の穴ぼこや、落石、道路標識の不備など道路異常に関する通報をいただいています。

また、道路の維持管理に関する意見などの提言もいただいています。